



PRESS RELEASE

2019年1月9日

特定非営利活動法人フィールドアシスタント

日本初の民間による模擬宇宙生活実験 「SHIRASE EXP.」の計画概要事前説明会 およびSHIRASE 5002船内見学会を開催

特定非営利活動法人フィールドアシスタント（事務局：神奈川県横浜市、理事長：村上祐資）は、2019年2月23日からの約2週間、旧南極観測船「SHIRASE 5002」の船内で火星へ向かう宇宙船を想定した「模擬宇宙生活実験」（SHIRASE EXP.0）を行います。この実験に先立ちまして、「SHIRASE EXP.」の計画概要説明会および実験施設船内の見学会を開催させていただきます。

日本初となる民間による模擬宇宙生活実験に是非ともご注目いただき、多くの皆様に取り上げていただければ幸いです。

◆SHIRASE EXP.計画概要説明会&SHIRASE 5002船内見学会スケジュール

日 程：2019年1月24日 木曜日

時 間：13:30 受付開始

14:00 計画説明会開始

15:00 船内見学会開始

・数組に分かれ案内いたします

・その間に取材も承ります

16:30 終了（完全降船）

会 場：SHIRASE 5002船内

住 所：千葉県船橋市高瀬町2 京葉食品コンビナート南岸壁

<http://bit.ly/2SIypnl>

★船内は急な階段や狭い通路がありますので、動きやすい格好でお越しください。
（ハイヒールやスカートでの乗船はお控えください）

★お車でお越しの際は、駐車場所に決まりがあります。

事前にお知らせいただいた上で、当日は現場スタッフの指示に従ってください。

★会場が係留船となるため、**当日の天候や状況によっては開催場所、スケジュールを変更させていただく場合がございます。**当方より確実にご案内を差し上げるために、**参加が不確かな方や興味をお持ちいただいた方も、念のため参加ご検討のご連絡をお願いいたします。**

【SHIRASE EXP.0（シラセエクスペディション・ゼロ）の概要】

往復3年掛かるとも言われる将来の有人火星探査。SHIRASE 5002を地球から火星へ向かう宇宙船と見立てた、日本で初めての民間による模擬宇宙生活実験。船内には外部と隔離された「宇宙船エリア」を設け、その中でクルーたちが約2週間にわたり共同生活を行います。実際の火星でも想定される「往復6分のタイムラグ」の交信の中で与えられる様々なミッション、あるいは模擬宇宙服を着用して行う船外活動（EVA）を通して、閉鎖環境の中でチームとして暮らしていく方法を検証します。

SHIRASE = Simulation of Human Isolation Research for Antarctica-based Space Engineering。

EXP. = Expedition（探検）, Experiment（実験）, Experience（経験）。

【今後のスケジュール】

2019年 2月22日 前日記者会見

23日 実験開始

3月 2日 管制室公開（午前10時～正午・クルーとの定時交信あり）

3日 管制室公開（午前10時～正午・クルーとの定時交信あり）

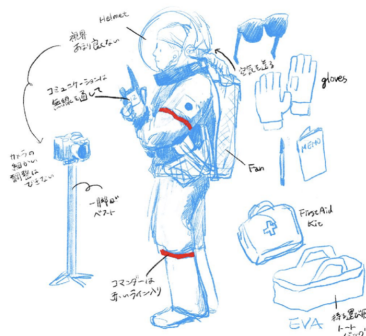
3月10日 実験終了（終了記者会見）

◆SHIRASE EXP.Webページ

<https://www.fieldassistant.org/shirase>

【フィールドアシスタント代表・村上祐資について】

1978年生まれ、40歳。極地建築家。『地球上の厳しい環境の地にこそ、美しい暮らしがあるはずだ』そう信じて、第50次南極観測隊越冬隊として昭和基地での閉鎖生活を経験。近年はアメリカの火星協会が主催する「模擬火星実験」のクルーに日本人として唯一選ばれ、「日本で最も火星に近い男」と呼ばれるようになりました。今年10月に、日本での模擬実験を開始するために特定非営利活動法人フィールドアシスタントを設立しました。



宇宙服イメージ



「SHIRASE 5002」（WNI気象文化創造センター保有）

ご出席者氏名：

ご出席人数　：合計　　名様

撮影　　　　　： ☐ スチール　　　台　　☐ ムービー　　　台

ご連絡先　　　：

e-mail　　　　：

通信欄　　　　：

※お車でお越しの方は、その旨をお知らせください

★ **This is a Test Email only.**
This message was sent for the sole purpose of testing a draft message.